

行政評価（外部評価）結果総括表

＜平成24年度実施計画分＞

平成25年7月

平成24年度実施事業における評価の対象基準について

平成24年度実施事業における外部評価については、効率性のある評価作業とするため、下記の基準に該当する施策を評価対象とし、併せて政策についても評価施策を含む政策とした結果、228施策中86施策、91政策中53政策を評価した。

- ① 平成23年度実施事業評価において合計点数が75点以下のもの
- ② 平成23年度実施事業評価において「2」又は「1」の評価があったもの
- ③ 平成23年度実施事業評価において個別意見が付されたもの

(注) 表中、彩色されていない施策は対象外のため、評価していない。

行政評価（外部評価）結果総括表（平成24年度実施計画）

第1節 産業を創造しゆたかで元気なまちをつくる

第1項 川西ブランドの創造

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
産学公による調査、研究機関の創設と川西ブランドの創造	概ね順調	政策実現に向け一歩前進したと考えられる。特に、「川西ブランド研究所」の活動成果が期待される。今後は、関係機関との連携を図りながら、継続的で定着を目指したものとなる必要がある。また、事業遂行の中で出てきた課題を1つずつクリアしていけるよう調査研究に力を注いでいただきたい。	(仮)川西ブランド研究所の創設	81.3	川西ブランド研究所を創立し具体的活動に入ったことは評価される。関係機関と連携を図りながら継続的な取り組みとなるよう図られたい。	
			資源、情報の活用と発信	75.0	町内外での各種媒体及びイベントを積極的に活用するなど、現在の取り組みを一層進展させ、定着を目指した資源情報の活用と発信に努力されたい。	
			産業間のネットワークの促進	87.5	取り組みの中で出てきた課題を次につなげることで、成果がより一層顕著になるよう今後の事業展開に期待したい。	
			地場産品の開発と流通の促進	81.3	地場産品の開発構想の成果が高まるよう努力されるとともに、今後さらに定着したものになるよう調査研究に力を注いでいただきたい。	
新たな産業づくりの促進	あまり順調でない	政策実現のため事務事業を進め施策への反映を望む。継続的でより現実的な取り組みとなるよう課題を整理していただきたい。	コミュニティビジネスの創設	75.0	今後関係諸団体との連携を深め、さらに内容のある企画・取り組みとなるよう努力されたい。	
			新エネルギー利活用の調査、研究	68.8	継続的でより現実的な取り組みとなるよう課題を整理していただきたい。	
			起業の育成、支援	75.0	起業に向けた講演会、研修会への参加にとどめず、総合的に育成支援する施策として今後起業までつながるものとなるよう期待する。	

第2項 持続し発展する農業の振興

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
産学公連携による支援拠点づくりの促進	概ね順調	産学公の連携により更に機能充実が図られるよう期待したい。特に、置農との連携は6次産業推進の面からも肝要である。	置賜農業高等学校との連携強化と機能充実の促進	87.5	町の事業に対する協力が高く、今後さらに連携強化を図りながら機能充実を促進されたい。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
信頼をつくる生産流通体制の確立	概ね順調	食の安全安心を進める生産流通体制の確立を図られたい。	食の安全の確立	87.5	消費地に対する安全安心な農産物の提供のため、更に継続的な取り組みとして確立されたい。	
食生活、食文化を通じた豊かな生活の推進	概ね順調	町民に対し（特に次代を担う子供たちや若者を中心に）、食についての正しい知識や農業への理解を推進できる政策を図られたい。	食農教育の推進	87.5	地元産米・地元食材の安定供給、安全安心な給食、これらを推進し郷土愛食文化を育む食農教育を更に図られたい。	

第3項 賑わいのある商業の振興

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
人材育成と組織づくり支援	あまり順調でない	後継者づくり、人材育成に有効な支援事業が何であるのか整理、明確にして政策達成のための施策の見直しを図られたい。	後継者、人材の育成支援	68.8	人材育成の取り組みを着実に行うとともに、今後一步踏み込んだ取り組みとなるよう具体的な課題対応などに努力されたい。	
			組織づくり支援	81.3	組織運営支援に一定の成果を上げていることは評価できる。今後事務事業を整備し市街地の活性化に努められたい。	
商業経営への指導支援	概ね順調	商工会の経営指導業務を促進するため、今後さらに事業展開を検討した経営指導の強化が必要である。	経営指導の強化	87.5	町商工会の経営指導業務を促進するため、今後更に事業展開を検討した経営指導の強化が必要である。	
中心市街地の賑わいづくり支援	あまり順調でない	中心市街地の活性化は非常に重要であることから、今後課題を克服し、より柔軟な発想で魅力ある店舗づくりの具現化に向けて取り組まれたい。	魅力ある店舗づくり支援	50.0	具体的な取り組みがみられず残念である。今後一層工夫した取り組みと支援に努力されたい。	
			憩いの広場づくり支援	81.3	中心市街地の活性化は町民ニーズでもある。今後課題を克服し、より柔軟な発想で活性化されたい。	
			きれいな街づくり支援	81.3	花いっぱい運動やダリアや花壇の植栽は、継続的な取り組みとして定着し評価できる。住民や関係団体と連携を密にし、役割分担や方向性を明確にし更に推進されたい。	
地場産品の活用	概ね順調	商品開発や地場産品の推進、販路拡大を図られたい。	商品開発への支援	87.5	各事業者と更に連携を図りながら、商品の定着と新たな商品開発を目指し、より効果的な開発支援を図られたい。	
			地場産品の販路拡大	87.5	計画を上回る実績は評価できる。今後は出された課題を改善され継続的支援と環境整備を図られたい。	

第4項 ものづくりを育む工業の振興

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
企業誘致の推進	あまり順調でない	雇用の確保と多くの若者の定着を目指した環境整備を検討し、企業誘致をさらに強く推進されたい。	誘致促進に向けた環境づくり	81.3	雇用の確保と多くの若者の定着を目指した環境整備を検討し、企業誘致を更に強く推進されたい。	
			融資、奨励金等の支援	87.5	更に継続的、より効果的支援となるよう進められたい。	
企業の経営安定支援	あまり順調でない	政策推進のためにも施策を支える事務事業を更に検討されたい。	企業間の交流促進	62.5	企業間の交流促進の具体的な手法について更に検討されたい。	
			各種制度を活用した経営支援	—		
起業支援	概ね順調	より広い層への事業展開を期待したい。今後政策の更なる推進を図る上で施策構成や事務事業を再検討していただきたい。	起業、開発支援	—		
			多様な就労活動への支援	87.5	より広い層への事業展開を期待したい。	
雇用対策活動支援	概ね順調	勤労者の福利厚生事業として継続的支援となるよう進められたい。なお、今後は更に勤労者の立場に立った事業推進を期待したい。	雇用活動に対する相談支援	—		
			勤労者の福祉向上支援	81.3	勤労者の福利厚生事業として継続的支援となるよう進められたい。	

第5項 資源活かした観光の振興

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
ダリヤの高付加価値化とブランド力の向上	あまり順調でない	市場性を高め高付加価値のある商品となるよう、関係組織の力を結集いただきたい。	ダリヤ栽培管理体制の充実	—		
			ダリヤの普及促進	—		
			ダリヤの産業化の促進	68.8	市場性を高め高付加価値ある商品となるよう関係組織の力を結集されたい。	
地域資源の活用と交流の促進	概ね順調	現状に満足することなく、地域資源を再認識できるような手法、視点で取り組むことで、ネットワークが進んでいくよう取り組まれたい。	ふれあいの丘の充実	87.5	ふれあいの丘整備短期アクションプランの策定による効果的な実施を期待したい。	
			地域資源のネットワーク化と活用	87.5	現状に満足することなく地域資源を再確認できるような手法、視点で取り組むことでネットワークが進んでいくよう図られたい。	
			グリーンツーリズムの推進	81.3	グリーンツーリズムは、わが町に適した農村資源の有効活用ともなり恒常的発展的に推進していくことが肝要と思われる。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
観光PR活動及び推進体制の充実	概ね順調	情報発信の質を高めイベントを充実することにより、地域活性化につながる取り組みをしていただきたい。	広域観光の推進	—		
			情報発信、イベントの充実	81.3	情報発信の質を高め、イベントの充実により地域活性化につながる取り組みとされたい。	
			推進体制の充実	81.3	観光協会運営事業には多くの町財政が出勤している。観光協会組織との関わりの中で、今後町の役割の検討も進めながら図られたい。	

第2節 みんなで支えあい安心して暮らせるまちをつくる

第1項 子育て環境の充実

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域子育ての充実	概ね順調	継続的な子育て支援事業の取り組みと放課後児童の安心安全な居場所づくりに向け、地域においての支援の充実と拡大、関係機関の連携を図りたい。	子育てサークル、託児ボランティアの育成	87.5	核家族化の中で、子育てについて不安を抱えている親が多いように思われるので、今後とも関係機関の連携と、更なる支援を継続されたい。	
			ふれあいの場、遊びの場の空間づくり	—		
			放課後児童の健全育成	87.5		

第2項 元気づくりの推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
元気づくり活動の充実	概ね順調	体力づくり、食育、生涯スポーツそれぞれ関係団体との連携、推進を図ることが必要である。	健康体力づくりの推進	87.5	健康は全市民の願いであり関心も高いが、特に働き盛りの世代を中心になかなか時間が取れないことも事実であり、更に市民のものとなりうるよう推進を図りたい。	
			元気づくり団体の育成支援	—		

第3項 健康・医療・福祉・介護の連携

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
健康、医療、福祉、介護の連携強化とサービスの向上	課題あり	健康福祉センター及び川西診療所については、早急な町の判断が必要である。	健康福祉センター機能の充実、整備	62.5	施設の老朽化における整備及び機能の明確化と、統廃合を含めた抜本的な見直しが必要と思われる。	

第4項 介護予防と支援体制の充実

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域包括支援体制の構築	概ね順調	支援体制の充実に向け総合的に構築を図られたい。	地域包括支援センターの創設	—		
			介護予防の推進	87.5	事務事業メニューの検討と民間業者等と連携し、介護予防事業への参加者が増えるような事業展開を進められたい。	
			継続的な介護支援	—		

第5項 地域医療の推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域医療環境の充実	概ね順調	川西診療所のあり方について、町民ニーズと町内医療機関との連携を図りながら検討されたい。	公立置賜総合病院との連携強化	—		
			川西診療所の機能充実	—		
			町内医療機関との連携	87.5	町内医療機関との連携は予防医療上も大切なことであり更に強化されたい。	
			医療給付の適正な運用	87.5	医療給付制度に基づいて適正な運用を図られたい。	

第7項 ノーマライゼーションの推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
福祉相談機能の充実	概ね順調	関係機関の連携、情報共有を図り、継続的な展開を図られたい。	福祉相談窓口の充実	93.8	民生児童委員の活動は地域に密着して行われており、今後も行政と連携を図られたい。	
			いじめ、虐待防止ネットワークの整備	—		
自立支援、社会参加の促進及びバリアフリー化の推進	あまり順調でない	公共施設のバリアフリー化については、整備計画を明確にし、実効性を高める必要がある。	自立支援、社会参加の促進	—		
			公共施設のバリアフリー化の推進	87.5	今後も計画的に公共施設のバリアフリー化を進められたい。	

第8項 危機管理体制の確立

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
危機管理に対する意識の向上	概ね順調	地域防災計画を基に、危機管理に対する意識向上に向けた具体的な取り組みを図られたい。	危機事態の情報収集及び調査、研究	75.0	地域防災計画を基に、具体的な調査研究及び実践を想定した仕組みが必要である。	
			危機事態に対する町民への意識啓発	—		
危機管理体制の整備	概ね順調	自主防災組織の機能強化と広域連携など一層の強化を図られたい。	専門的な人材の育成	81.3	災害時の専門の知識を持った人材確保と育成を今後とも図られたい。	
			自主防災組織の育成	—		
			総合防災体制の整備	—		
			広域防災体制の充実	—		
防災拠点として庁舎及び公共施設の機能調査	課題あり	防災拠点としての庁舎等のあり方と整備対応について具体策を図られたい。	庁舎建設に向けた調査検討	37.5	第5次総合計画に防災センター拠点として議論を進められたい。	
			公共施設の耐震調査と整備	—		

第3節 住み良い環境を創り次世代につなげるまちをつくる

第1項 計画的な土地利用の推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
歴史や文化など地域資源を活用した中心市街地づくりの推進	概ね順調	政策実現のため継続性のある事務事業を実施されたい。	町民と行政の協働による街づくり推進体制の構築	—		
			街づくりデザインの確立	75.0		
			中心市街地の賑わいづくりの支援	81.3	町民の期待度も高く、地域住民と商店街が連携し、広がりのある事業展開を推進されたい。	
			羽前小松駅の多角的利活用の推進	75.0	様々な階層、立場の人の参加を促進し、賑わいをつくってほしい。	
			都市計画の見直し	—		
ダリヤ園、内山沢一帯の土地利用の構築	概ね順調	管理経費等の予算の確保にも配慮しつつ、将来を見据えた取り組みを実施されたい。	ふれあいの丘の整備	87.5	整備内容、進捗状況等の情報提供を行うとともに、整備後の管理体制や維持経費を考慮しながら推進されたい。	
			協働の杜の創造	81.3	関係団体と連携した継続的な維持管理の方策について考慮されたい。	
公立置賜総合病院周辺の土地利用の構築	あまり順調でない	土地利用のビジョンを明確にし、具体化に向けた取り組みを実施されたい。	広域的視点に立った土地利用の推進	93.8	具体的な用途を明確にして土地利用の推進を図られたい。	
			医療、住宅、商業が融合したまちづくりの推進	81.3	都市計画マスタープランの実効性を高めていってほしい。	
町内各地区の特性を生かした土地利用の推進	概ね順調	地区活動でのよい取り組みを互いに評価、発信し、各地区で意欲を高めてよりよい地域づくりを進められたい。また、政策内容に沿った事務事業を再構築されたい。	地域資源の発掘と地域デザインの確立	93.8	各地区の取り組みの情報を共有化し、今後も独創的な事業展開を期待する。	
			相互連携による土地利用の推進	87.5	町内にさくらの名所が増えることを希望する。 各地域に対する環境整備の助成の実施について検討されたい。	

第3項 生活交通の確保

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
町民の視点に立った生活交通システムの構築	概ね順調	法令の順守とともに町民の利便性向上の視点から、できることを精査し取り組まれない。	デマンド型乗合交通システムの構築	—		
			町民が主体となった移動サービスの構築	75.0	移動手段に限られる町民への必要な施策である。今後のニーズをふまえながら住民ができる範囲で継続して推進されたい。	
鉄道の利用拡大の促進	概ね順調	自治体の取り組みのみならず、鉄道事業者との相互協力も大事である。	米坂線及びフラワー長井線の利用拡大	75.0	観光利用なども含め県や近隣市町と連携して推進されたい。また、支援方法についても引き続き検討を重ねられたい。	
			フラワー長井線を支える仕組みづくり支援	75.0	今後も支援を継続していくことが求められている。	

第4項 高度情報基盤の整備

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
高度情報化に向けた環境整備と人づくりの推進	概ね順調	高齢者へのフォローとともに情報発信側（行政）の人材育成も充実されたい。	地域情報基盤の促進	—		
			情報化推進のための人づくり	75.0	講座の内容については、参加しやすさ、情報化への対応、利用率向上につながるよう検討を重ねられたい。	
高度情報基盤を活用した地域情報の受発信と多面的な活用の推進	概ね順調	テレビを見るための整備ではなかったはずであり、高度情報基盤の利活用の幅を広げ、利用者を増やす取り組みにつなげてほしい。	情報ネットワークの形成	—		
			ネットワーク加入促進と相互利活用の推進	68.8	現状のままでは加入率は頭打ちではないか。具体的な利活用法を提示しながら利便性をPRする取り組みが必要。	

第5項 生活環境の整備

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
住環境の整備	概ね順調	助成等は有効であり、継続が望まれている。空き家の有効活用も検討されたい。	地域住宅計画の策定	100.0	空き家対策と住宅需要をマッチさせた取り組みがあるとよい。	
			潤いのある市街地形成の検討	75.0	今後の維持管理や住民の利用促進について十分留意されたい。	

第6項 環境の保全

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
新エネルギーの調査研究と利活用の推進	概ね順調	各種自然エネルギーの利活用の実践、検討について継続して取り組まれない。	自然エネルギーの利活用	—		
			リサイクルエネルギーの利活用	75.0	環境負荷、効率性を考慮したエネルギーの利活用について、調査研究を継続されたい。	
			クリーンエネルギーの利活用	—		

第4節 人と地域が共にかがやくまちをつくる

第1項 ダリヤのまちづくりの推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
ダリヤ(花)を育み、町を愛でるまちづくりの推進	課題あり	当初事業計画時のビジョン構成が明確でなかったのでは。住民主体の事業推進を図る上で、わかりやすいイメージ図を示すなど、住民から盛り上がるための環境づくりが必要である。	(仮)花づくり銀行の創設	56.3	事業中止となった原因は計画当初より想定できたのではないか。施策を精査し、事務事業を再構築されたい。	
			花いっぱい運動の推進	—		
			ダリヤロードの構築	68.8	「花」を生活に取り入れようという住民意識は高まっている。住民主体で継続性を確保するには、将来のビジョンを明確に示し、住民が取り組みやすい事業展開となるよう検討されたい。	
			花による景観づくりの推進	—		
さくらの丘づくりの推進	概ね順調	単年度で評価しづらい政策である。住民が自発的に関わっていけるような環境づくりに工夫され、継続的な取り組みをされるよう希望する。	「協働の杜」の創造	81.3	さくら植樹後の維持管理が大事となる。住民が自発的に関わられるような体制づくりに取り組まれたい。	
			地区ごとのさくらの名所、丘づくりの推進	81.3	さくら植樹後の維持管理が大事となる。住民が自発的に関わられるような体制づくりに取り組まれたい。	

第4項 交流の拡大

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
交流基盤の構築	概ね順調	交流の目的や意義が町民に浸透しないままに事業のみが実施されていると感じる。目的、目標を明確化し、情報発信を積極的に行いながらより事業の充実を図られたい。	交流拠点の機能充実	—		
			交流資源の充実、ネットワーク化	81.3	やまがた里の暮らし推進機構の組織自体が不明瞭な感があり、目的・目標を明確にされたい。	
			情報提供システムの構築	75.0	行政と委託団体の役割分担を明確にするとともに、委託事業の評価・点検を適切に行われたい。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
地域間交流、国際交流の推進	概ね順調	次のステップを明確に設定するなど、計画的な推進を図りたい。	各種交流事業の促進	81.3	川西夏まつりの事業は子供からお年寄りまで多くの人に参加、見物されてよかったが、今後も町民ニーズの把握に努められたい。	
			自治体間、民間の交流連携の推進	81.3	交流による将来像を明確化されたい。また、町民レベルの交流の推進についても検討されたい。	
			国際交流の推進	81.3	国際交流に対する町民の認識はまだ低い。各種イベントに外国人を招待するなどの方策を検討されたい。	
交流人材の育成と川西ファンの拡大	概ね順調	人材とファンをどのように育て、どのように活用していくのかを明確にし、高い目標を設定されたい。	交流人材の育成	75.0	人材バンクは潜在的なニーズの掘り起こしが必要であり、ニーズに応えた提供ができれば活用につながる。 人材バンク、里の暮らし推進機構、行政のそれぞれの役割を整理されたい。	
			川西ファンの拡大	75.0	PR活動を充実されるとともに川西ファンに期待すること、なにをしてもらうのかを明確化されたい。	

第5項 教育環境の整備・充実

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
教育環境の充実	概ね順調	ハード面の整備のみならず、地域住民の心情に配慮しつつもスピード感をもった推進を図られたい。	学習効果を勘案した学区の再編	75.0	小学校の再編については、各学校、保護者等と十分に協議し、地域の考えも考慮しながら丁寧に検討されたい。	
			学校給食の効率的、効果的運営	—		
			施設の計画的な整備	—		

第6項 生命の教育の推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
家庭教育力の向上	あまり順調でない	全体の教育力向上に果たす家庭教育力の役割が不明。一家庭の問題とするのか、地域全体で取り組むべき課題なのか、現状の分析と把握に力を入れ、事業実施にあたられたい。	教育連携体制の構築	68.8	家庭教育力を上げることで全体の教育力向上にどのような影響があるのか不明である。事務事業を再構成し、事業を遂行されたい。	
			共育環境づくりの推進	—		
			地域子育ての意識づくりの推進	—		

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
こころの教育の推進	概ね順調	日常的、継続的な働きかけを続けられたい。	性の教育、いじめ、不登校への対応	—		
			生き抜く力の育成	—		
			食育教育の充実	87.5	食育推進計画の中で食育教育の充実を図るとともに、地産地消のシステムの構築についても検討され、町の特産品の奨励や消費推進にも取り組まれたい。	

第7項 生涯学習・生涯スポーツの推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
学習推進体制の充実	概ね順調	施設機能整備については、予算的な制約の中でも現状維持ではなく充実の方向で取り組まれたい。 生涯学習の効果の指標化（講座数や参加者数でない）を検討されたい。	施設機能の充実	87.5	地域活動の推進により、今後とも要望の高い事業であると思われ、予算は限られているが、安全性や効率性を担保しながら継続して取り組まれたい。	
			情報提供の促進	81.3	定期的にプログラムの見直しを行いながら、PRの仕方や利用しやすさ等を工夫して実施されたい。	
			交流による人づくりの推進	—		
主体的な学習活動への支援	あまり順調でない	学習の場、機会の提供はなされているが、学習することで市民の生活がどうなるのか、明確化されていない。	学習講座の提供	87.5	多様な学習ニーズに対応した学習計画を作成し、事業の充実を図られたい。	
			地域活動への支援	—		
			情報発信の提供	81.3	住民と行政双方の利活用形態を検証し、情報提供の在り方を再検討されたい。	
競技力の向上	あまり順調でない	競技力の向上であれば、評価は成績で判断される。本政策のなかで、体力づくり、スポーツ全般の普及、ホッケー競技と広範囲な事業が詰め込まれており、評価しづらい。内容の精査が必要である。 技術力を向上させる競技とは何か、どの程度の指導者の指導力を求めるのかなどを精査する必要がある。	指導体制の充実	75.0	普及拡大、競技力向上のそれぞれに明確な目標を設定し、効率的な推進を図られたい。	
			ホッケー競技の振興	—		

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
スポーツ環境の充実	概ね順調	指定管理による運営、総合型スポーツ団体の活動等、一定の成果があり評価できる。人工芝ホッケー場については多目的利用等、使用頻度の高い施設運用となるよう配慮されたい。	施設管理、運営体制の充実	87.5	運営については利用者の声を聞く努力が見える。限られた予算のなかで、計画的に安全性、ニーズを考慮した運営を継続されたい。	
			施設の整備、充実	—		

第8項 男女共同参画社会の推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
社会参加機会の拡大	概ね順調	男女共同参画の意義の理解はある程度浸透している。社会参加機会を十分に活用できるような環境づくりに努められたい。	女性の活躍の場の創出	—		
			政策、方針決定への男女共同参画の推進	75.0	自治体で取り組める内容は行っている。男女共同参画の意義を学ぶ機会を提供していくこととともに女性が参加しやすい環境づくりに継続して取り組まれたい。	
働くための環境整備	概ね順調	子育て支援の環境は徐々に整備されてきていると感じる。男女共同参画については、参加できない障害があるのであれば、それを取り除く施策を実施し、権利行使できる環境づくりに努められたい。	安心して子育てできる環境の整備	—		
			女性の能力が発揮しやすい環境の整備	81.3	自治体でできる取り組みは行っていると思われる。	
意識啓発及び推進体制の確立	概ね順調	男女共同参画の意義の理解はある程度浸透している。参画を望む、望まないの判断は個人の考えであり、参加したい、活躍したいという女性の発掘と、参加しやすい雰囲気づくりに力を注がれたい。	男女共同参画意識の醸成	75.0	女性の参加を拒まない社会環境づくりに継続して取り組まれたい。	
			男女共同参画社会実現のための推進体制の確立	75.0	女性が参加しやすい環境づくりに継続して取り組まれたい。	

第9項 自主・自律のまちづくりの推進

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
協働のまちづくりの推進	概ね順調	NPOやボランティア団体には、行政の積極的な支援より、サポート体制があるという安心感が有効である。定期的な声掛け等が望ましい。青年層への助成については、何が目的か、何をさせたいのか明確でない。利用する方も戸惑いがあるのではないか。	川西町まちづくり基本条例の啓蒙	81.3	施策内容を明確化にして推進されたい。	
			情報の共有化、広報・広聴活動の推進	—		
			NPO、ボランティア団体等の育成支援	81.3	支援の仕方（どこまで、何をしてやるか）を明確にして取り組まれたい。	
			子どものまちづくりへの参画	68.8	若者の自主性を尊重しながら、行政としての支援の在り方を再検討されたい。	

政策名	評価結果	評価の理由	施策名	評価点数	評価の理由	個別意見
広域連携の推進	概ね順調	市町村合併の意識は薄れており、事務事業としての見直しが必要。 周辺市町とどのような連携をすれば町民生活の向上に繋がるのか、調査研究を進められたい。	情報共有と相互理解の推進	—		
			行政サービスの広域化と広域処理	—		
			市町村合併に関する調査、研究	62.5	定住自立権構想等、国の政策に注視し、今後本町として最良の取り組みができるよう調査研究を継続されたい。	